

《平成28年 研究会活動紹介》

研 究 会 名	代 表 者 氏 名
室町期における諸宗兼学仏教の研究	大橋 雄人
研究会名 略称： 十勝研	所 属： 大正大学 非常勤講師
活 動 紹 介	
<p>【活動内容】</p> <p>当研究会は、日本室町期の仏教研究について、特に当時新たに興隆した諸宗兼学・融合思想を提唱した旭蓮社澄円（1290—1372）の思想について、主著『浄土十勝節箋論』（以下『十勝論』）、①本書の翻刻、②書き下しの作成、③語註を施す、という作業を通じて澄円の思想を明らかにしていく。この作業は毎年『綜合佛教研究所年報』に掲載して発表していく予定である。</p> <p>最終的な目標としては、作成した『浄土十勝論』の翻刻・書き下し文・語註をまとめた本文篇と、参加研究員の個人研究をまとめた研究篇の出版を考えている。</p>	
<p>【活動実績】※出版/論文/受賞・研究助成の経歴など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『綜佛年報』に翻刻・書き下しの成果を掲載（平成22年度～27年度） ・大橋雄人「澄円『浄土十勝論』序文・跋文の執筆者について」（『仏教文化学会紀要』23） ・大橋雄人「澄円『浄土十勝論』における引用文献について」（『仏教文化学会紀要』24） ・大橋雄人「澄円『浄土十勝論』の成立過程について」（『仏教文化学会紀要』25掲載予定） 	
<p>【平成28年度活動計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き翻刻、書き下し作業を進める。 ・各自テーマを設定し、個人研究を進める。 	